

新宿区における医療救護所開設・運営訓練及び医療機関との連携について

1 医療救護所開設・運営訓練の実施状況

平成25年度：1か所実施（大久保小学校）

平成26年度：3か所実施

8月24日（日）落合第二小学校

8月31日（日）西新宿小学校

11月16日（日）新宿西戸山中学校

平成27年度：3か所実施

9月6日（日）四谷中学校

10月18日（日）余丁町小学校

12月19日（土）津久戸小学校

平成28年度：3か所で新たに実施予定

平成25年度から実施してきた7カ所においては、継続的に実施する予定

2 医療救護所訓練の実際

【目的】

- ・災害時、速やかに医療救護所の開設・運営ができる。（新宿区職員、新宿区医師会医師、地域住民）
- ・地域住民に医療救護所の役割とトリアージの概念等を理解してもらう。
- ・訓練実施結果を検証し、必要な準備を行うとともにマニュアルを具体的な内容としていく。

【実施方法】

- ・四谷中学校は避難所運営管理訓練と同時実施。
- ・余丁町小学校は避難所運営管理訓練と同時実施。国立国際医療研究センターの見学参加あり。
- ・津久戸小学校は医療救護所訓練のみ実施し、医療救護所のレイアウト等を検証。
JCHO 東京新宿メディカルセンターの見学参加あり。

【内容】

- （1）医療救護班スタッフの参集
- （2）医療救護所の開設準備
 - ① 備蓄倉庫からの医療資器材の持ち出し
 - ② 会場設営（受付、トリアージ・処置エリアの設置、エアテントの設営等）
- （3）医療救護所の開設
 - ・受傷者の誘導、受付
 - ・一次トリアージ（デモ実施）
 - ・トリアージの概念等について説明

【訓練風景】



スタッフと地域の方で医療救護所の設営



医療救護所の概要説明



受付
受付用紙トリアージタグに
氏名等を記入する



トリアージの実施
新宿区医師会医師による
一次トリアージ
(デモで実施)



応急処置の実施
新宿区医師会医師による応急処置
(デモで実施)

3 医療機関との連携等

- 平成 27 年 11 月 5 日 (木) 周辺防災対策協議会訓練への参加
主催：新宿駅周辺防災対策協議会、新宿区
参加及び協力団体：新宿区医師会、東京医科大学病院、東京女子医科大学病院、大久保病院、日本赤十字社東京都支部、工学院大学など。
- 平成 27 年 11 月 12 日 (木) 東京女子医科大学病院 総合防災訓練への参加
災対健康部に設置してある区防災無線での通信訓練を実施。